

第2回 柏市産業振興会議 指摘事項と対応方針（案）

（１）調査の実施結果について

	頂いたご意見・ご指摘	対応方針（案）	該当
1-1	○ヒアリング結果はビジョンへ反映するか	⇒ビジョンの資料編へ反映する。	P.92～94
1-2	○過年度の製造業を対象とした調査結果はビジョンに反映するか。	⇒調査結果を他のアンケートと同様に資料編に反映する （結果については、統計処理程度とする） ⇒商業実態調査についても同様	P.83～91
1-3	○柏で一番多いのはネギ。ネギ・カブ・ほうれん草と来る。一番生産額が多いのはネギであるが、主な農産物はカブとなっているので、その辺りをもう一度調べて欲しい。	⇒農産物の生産額について確認し、ヒアリング結果に反映する。	P.93
1-4	○「昨年と今年は秋の台風の影響で共選できず」とあるが、本当に農協で共選できない状態だったのか、確認して欲しい。	⇒ヒアリング先（JA ちば東葛）へ確認し、ヒアリング結果へ反映する	P.93
1-5	○アンケートの自由記述において、ビジョンへの意見の他に行政への意見も見られるため、結果の公表について留意するべきである。	⇒自由記述内容はビジョンへ反映しない。（統計処理程度とする）	P.61～91

（２）１章「柏市産業振興戦略ビジョンとは」および２章「現状と課題」について

	頂いたご意見・ご指摘	対応方針（案）	該当
2-1	○今年 7 月に柏アーバンデザインセンターが中心になって 20 年後の柏を描く「柏セントラルグランドデザイン」を対外的に発表しており、産業振興を考えていく上で中心市街地の将来像ということ言えば、この問題は触れておいてもいいのではないか。	⇒ビジョン内の「2. 現状と課題」部分において、トピックスとして「柏セントラルグランドデザイン」について取り上げる。	P.14
2-2	○AI オンリーで行きますということではなくて、柏はイノベーションの中心になると、そういう捉え方が必要なのではないか。国を代表するような大きな大学、研究機関・病院、そういったものが国の資金や人材をすべて集めてやろうとしている、そういう中に柏があって、そういう動きに対して柏がどのように対応していくべきか、そういう発想をした方が良い。	⇒AI 研究拠点がくることのメリットと併せ、イノベーションの展望（ストーリー）と柔軟な対応の方向性について、ビジョン内に記載する。	P.32～39
2-3	○柏の葉では、UDC2 がビジョンを作っているのと同じように	⇒トピックス等で、柏の葉における新産業関連の取組について取り	P.17

	頂いたご意見・ご指摘	対応方針（案）	該当
	UDCK でもキャンパスタウン構想というものを作っており、9 月に「新産業創造部会」というものを立ち上げた。AI 拠点の話やがんセンター、エリアにいる事業創造に係る関係機関の方々と連携し、一つの戦略をもって企業誘致や新しい産業の創造に取り組むことを行っている。コアメンバーとして柏市さんも入っていただいているので、そのあたりも触れたらどうか。	上げる。	P.39
2-4	○トピックで挙げている AI 拠点が毎回製造業に入っているのに若干違和感がある。AI はいろんな分野に入ってくると書いている中で、製造業に入ってくるとするのは少し違和感があった。 ○AI や IoT というのは基盤技術であり、工業に限らず産業全体に係るので、できれば P5「新たな技術の進展」のところに「基盤の技術である」ということを入れ込んでいただけると、全体としてこの後の論調もっと良くなるのではないかと。「全体の基盤技術」というような言葉が入ると良い。	⇒「2. 現状と課題」部分の「④新たな技術の進展」における活用・取組事例等において多分野の事例を取り上げる。 ⇒トピックスは産業ごとに作成しているため、AI 研究拠点の設置は、製造業部分に記載。	P.14・15 P.17
2-5	○商業の課題について、E コマース・ネット販売による影響は地元の商店や商店街だけではなく、大型店も同じように影響を受けていると思うわれるため、少なくとも課題として認識はしている、ということは記載が必要ではないか。	⇒ビジョン内の「2. 現状と課題」の中で、E コマース・ネット販売が及ぼす影響について取り上げる	P.7
2-6	○商店街が生き残るためには、E コマースではできない、例えば電球 1 個を取り換えに行くとか地域ならではのことで、また、高齢の方への対応というのが課題として挙げられる。連帯感の中で高齢社会に向けてどんなことをやるか、というような切り口があると、解決策あるいは施策を作っていく上でも切り口のひとつになるのではないかと。	⇒施策（今後の検討事例）のなかで取り上げる。	P.41

(3) 3章「柏市の強みを踏まえた将来の展望について」および4章「各施策の取組」について

	頂いたご意見・ご指摘	対応方針（案）	該当
3-1	○ビジョン原案では産業が先に出てきており、どうしても工業的なイメージが出てきてしまうので、他の商業・農業・観光のイメージを作るにはイメージ図が必要ではないかと思う。	⇒ビジョン概要版で示しているイメージ図を本編に組み込む。	P.33
3-2	○基本理念について、「先端産業と地域産業を結ぶ」というところがすごく良いが、後段の「新たな『産業』を育てる」の『産業』は、一般の方は経済活動の種類や分類の形で認識しており。とても大きな話に聞こえる。	⇒基本理念の「新たな産業を育てる」部分については、「産業振興を通じて価値を生み出す」に変更。	P.32
3-3	○産総研が未来拠点に建ち、その中で生活知識集約型産業の拠点にしたいと言っている。いろいろな生活に密着したものの試験や実証実験の話も出てくるので、そこへ積極的に参加して柏市としてフィールドを提供するようなイメージがあると良い。柏の葉だけでなく、ゆくゆくは農業や商業関係も提供していき、得られた知見などを活かして都市づくりに役立たせていくのがポイントだと思う。拠点が来るメリットを呼び込むということを書ければ良い。	⇒AI研究拠点がくることのメリットやイノベーションの展望(ストーリー)について、ビジョン内に記載する。(2-2に同じ)	P.32～39
3-4	○柏市としては農業をどう考えていくか、今は産業としては本当に微々たるものだが、柏市としては食糧をもっと自給させるという気持ちを持って農業に対応していきたいという姿勢があると良い。	⇒農業の捉え方についてビジョン内に記載する。 地産地消の推進について、施策に明記。	P.43
3-5	○今後の農業にせよ、ものづくりの産業にせよ、人材についてどう考えているかということが何かあっていいのではないかと。例えば若手の人たちに魅力ある現場をどう伝えていくのか、どうやって若い人に興味を持ってその産業に入ってきてもらうのか、というところも柏市の既存産業を継承していくには必要。人そのものをどう考えていくか、というのも視点としてあっていいのかなと思った。	⇒人材育成（就労支援・事業承継）についてビジョン内に記載する。	P.45
3-6	○具体的にこれからこれを進めていかなきゃいけないという段階が一番重要。具体的にどうするのだろう、いつまでにここまでやらなきゃいけないとか、次のところまで落とし込むではないが、見えるものが次に出てくるとより分かりやすいのかなと。結論から言えば、やはり	⇒人材育成（就労支援・事業承継）についてビジョン内に記載する。	P.45

	頂いたご意見・ご指摘	対応方針（案）	該当
	人材ということに帰結するように思う。		
3-7	○先端産業や地域産業は、商業関係とは全くかけ離れているような感じで、今後の事業例とかここに書いてあるようなことはほとんどないので、商業とか観光とかレジャーとかそういうような面も入れていただきたい。商店街が育てていかなければ柏市の発展に繋がらないのではないか。	⇒商店街の活性化や観光・レジャー等の整備・情報発信について記載。	P.41～42
3-8	○柏の農業の代表としてカブが有名とあったが、それに対して、ネギの生産量のほうが多いという話があった。お土産を買うときに柏はカブが有名とほとんどの人が知る。PR 不足だと思う。工業も農業も観光も別々ではなく、一貫性を持たせて街を活性化するというのが良い。	⇒一貫性を持った地域製品の PR について、施策に盛り込むことについて検討する。	P.43
3-9	○こういう企業が集まってくる→連携化される→そういう企業に従事する人が柏に住んでくれる、そしてそういう人を増やしたいと、そういった流れをうまく作れるようなストーリー感も欲しい。	⇒AI 研究拠点がくることのメリットや展望（ストーリー）について、ビジョン内に記載する。	P.32～39

（４）５章「計画の推進と効果測定について」および６章「各種計画との連携について」について

	頂いたご意見・ご指摘	対応方針（案）	該当
4-1	○最終的に効果測定ということであれば、このビジョンは「先端産業と地域産業を結び」ということなので、結んだ数を入れ、これだけ結んでいる、というのを入れていただきたい。	⇒効果測定にマッチング数を追加する。	P.33
4-2	○評価の指標は結果を出すための施策であるべき。その目的と目標の部分に書いてあるというところの関連性が今はあまり見えない。これをやったら絶対にこの指標が上がるというものが施策に入ってくるべきであり、その施策を推進していけば必ずこの目標が達成できるという繋がりが見えるような指標と施策の関係性であるべき。	⇒目標と指標の関連性について整理する。	P.33
4-3	○割と一般的な指標だが、もう少し直接的になったほうが良い。ベンチャーの数とか起業した人の数等が考えられるが、使うとなると結構難しいものもある。そこを加味して検討して欲しい。他にこういう指標があったら良いと思うものがあったら教えて欲しい。	⇒起業数を追加する。	P.33

	頂いたご意見・ご指摘	対応方針（案）	該当
4-4	○「果たすべき役割」と書かれているが、市民については、市民に役割を強いるものではないため、かなり気を付けて書かれた方が良い。	⇒市民の役割についての書きぶりを修正する。	P.48

（５）その他（産業振興会議後にでた意見）

	頂いたご意見・ご指摘	対応方針（案）	該当
5-1	○AI を活用した具体の将来像を掲げると良い。	⇒AI・IoT を活用したモデルケースをコラムとして掲載する。	
5-2	○つくばスタートアップ戦略（案）が戦略と成果についての記述がわかりやすい。 ○つくばスタートアップ戦略（案）と同様に、「先端産業と地域産業を結びつける」ための戦略の段階の提案を柏市でできるとよい。施策を製造業・商業・農業・観光業の4分野で立案していく。（もちろん、農業事業者が観光系、例えば、リゾートを作るケースもあるので完全な分離を想定する必要はない） <例> Lv4 立案した戦略をもとに柏市内で創業した先端企業と地域企業が結びつき、新事業/経営改善へとつながる Lv3 立案した戦略をもとに柏市内外の先端企業と地域企業が結びつき、新事業/経営改善へとつながる Lv2 地域企業が AI 技術/IoT 技術を自社に適用し、価値を創出するための戦略を立案しはじめる。 Lv1 地域企業が AI 技術/IoT 技術を自社に適用することを検討する。 Lv0 これまでの延長線上でこれまで通りの事業・商売を行う。	⇒AI 研究拠点がくることのメリットや展望（ストーリー）について、ビジョン内に記載する。（2-2 に同じ）	P.32～39

（以 上）